知的障害者のライフコースと恋愛・結婚・子育て

結婚推進室「ぶ～け」調査から

明星大学教育学部　　平井　威

* 長崎県雲仙岳の裾野、有明海を望む丘　南高愛隣会

♥ **結婚推進室「ぶ～け」とは！？**

～一人ひとりの幸せのかたちの実現を～

*http://www.airinkai.or.jp/service/annai_bouquet

* 利用者の夢：就労して自立
  でも、稼いだお金でなにすっとね？
* し・あ・わ・せ、のためではなかと！？
* 愛する人と暮らすために使うとね！

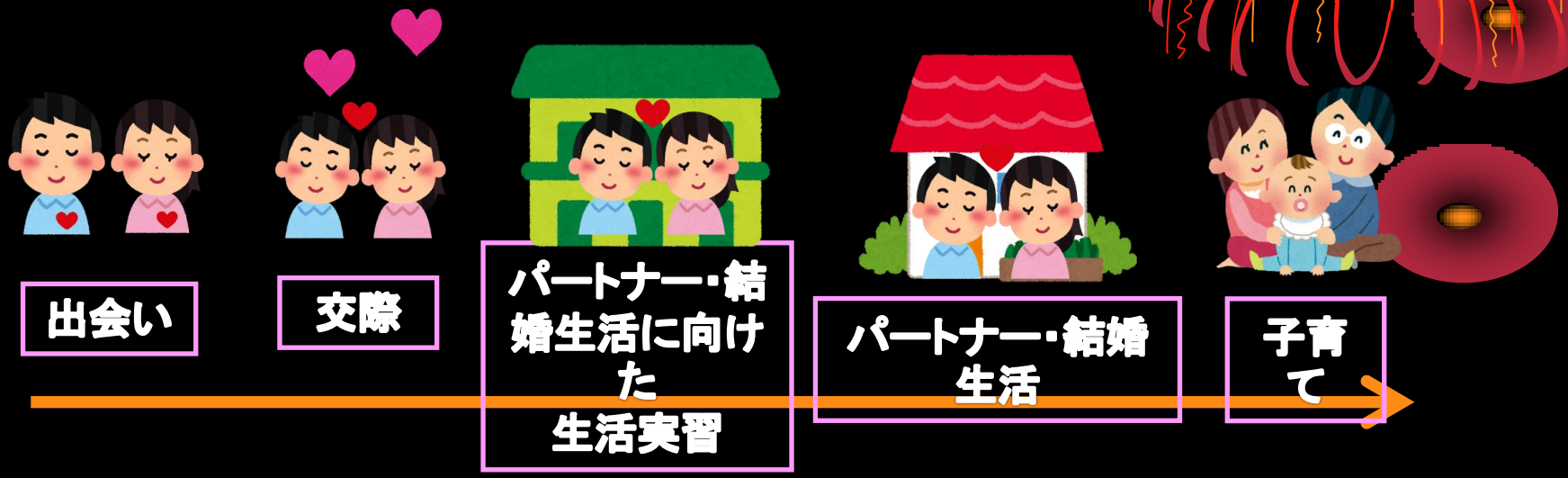
* 長崎県雲仙岳の裾野、有明海を望む丘　南高愛隣会

結婚推進室「ぶ～け」とは！？
～一人ひとりの幸せのかたちの実現を～

* http://www.airinkai.or.jp/service/annai_bouquet

「ぶ～け」のシステム

愛する人との生活を支える



1. 登録者同士の出会いのチャンスを創る
2. 交際のフォローアップや愛する人との暮らしづくりを応援
3. 豊かな暮らしが続くようサポート

	人数a	努力数b	努力値 b÷a	群間倍率
交群で結婚生活が夢	38	93	2.45	6倍
探群で結婚生活が夢	36	27	0.75	1.8倍
交群＋探群その他の夢	56	23	0.41	1

* 当事者アンケートでは、「将来の夢」や「夢をかなえるために努力していること」を聞いた。「夢」に結婚など好きな人との生活を挙げた人は、そうでない夢を挙げた人と比べて探し中の人で1.8倍、交際中の人では6倍も努力している事柄が多く挙げられていた。

*恋は努力の源泉 -当事者アンケート結果から

支援付きパートナー生活

このお二人は、戸籍上の夫婦ではないけれど、式も挙げて、二人で暮らしています。

2LDKの一軒家に暮らし、毎日世話人さんが様子を見に来てくれます。食事は調理材料の宅配です。

*人のライフコースを規定する要因

歴史・地域・制度・政策等

家族・仲間・支援者等

文化的背景

社会的な絆

個人の目的志向性

適応のタイミング

当事者の意欲・能力・態度等

病気・事故・結婚・出産等

誕生 → 人生の発達と加齢過程 → 死亡

成長期　中年期　老後期

軌跡・分岐

Janet Z.Gieleによるライフコース・パラダイムの図をもとに筆者加筆

Glen·H Elder,Jr. et al(本田時雄他訳)（2013），「ライフコース研究の技法」

*入所施設にいる人のライフコース（イメージ）

文化的背景

歴史・地域・制度・政策

施設支援者

社会的な絆

適応/問題行動

個人の目的指向性

適応のタイミング

誕生 → 加齢過程 → 死亡

成長期　中年期　老後期

軌跡-分岐

＊なるとさんとみちこさん

個人の目的志向性要因の強さ

実はなるとさんとみちこさんは、子どもの頃施設で知り合い、小学5年生のときにラブレターを交わしている。先に南高愛隣会法人に入所したみちこさんは、「厳しく接していた」時代に他の男性と情を交わし子どもを身ごもったが、それを職員に隠し続け出産している。やむなく始まったみちこさんの子育て支援の実績が「ぶ～け」設立の前史となっている。南高愛隣会で再び出会ったなるとさんはみちこさんの過去を不問にし、交際することになる。

「ぶ～け」立ち上げ以前から隠れて付き合っていたなるとさんとみちこさんだったが、「みちこは5年間も夜に世話人たちが帰ったあと最終電車でなるとのもとに行って、朝6時の始発に乗って帰ってきていたことが分かったので、そんなに思いが深いなら、もう応援するしかない」（担当常務）ということで、支援者たちが変わった。

みちこさんの子どもの自立の時期とも重なり、なるとさんたちはGHで結婚生活を開始することができた。

「ごめんなさい」「やるっきゃない」
→法人職員の思考柔軟性と決意